

大玉村が目指す教育

「夢を育てる教育」
～おおたまに学び、
世界とつながる
人間の育成～
・4つのきょういく
共育 響育
強育 郷育

大山教育の構想2025

【教育目標】『めざせ！夢に向かってがんばる子』

～地域と共に、自らの夢に向かって努力し、未来を拓く子どもの育成～

めざす幼稚園像

- 1 子どもが生き生きと活動する幼稚園
- 2 子ども・教職員・保護者がともに育つ幼稚園
- 3 安全・安心で、笑顔があふれる幼稚園
- 4 家庭・地域と連携・協働し、地域とともに歩む幼稚園

めざす教職員像

- 1 子ども一人一人に寄り添う教職員
- 2 使命感が高く、自己研鑽に努める教職員
- 3 同僚性が高く、組織的な取組を大事にする教職員
- 4 園児・保護者・地域から信頼される教職員

〈めざす幼児像〉

『なかよく遊ぶ』

(身近な人とかわろうとする子の育成)

『元気に遊ぶ子』

心も体も健康な子の育成

『進んで遊ぶ子』

自ら進んで意欲的に遊ぶ子の育成

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)】

◎道徳性・規範意識の芽生え

○健康な心と体

◎思考力の芽生え

○協同性

◎は、最重点事項

○社会生活との関わり

◎言葉による伝え合い

○自立心

○自然との関わり・生命尊重

○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

○豊かな感性と表現

【3歳児】・先生や友達とふれあいながら遊ぶ楽しさがわかる。
【4歳児】・気の合う友達とふれあいながら、一緒に遊ぶ楽しさがわかる。
【5歳児】・友達のよさを認め、仲間意識をもって遊びを進める楽しさがわかる。

① 社会性を学んでいく場の設定

- ア 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえる環境の工夫
イ トラブルや葛藤体験を通して、相手の気持ちを考える場面の工夫
ウ 決まりの大切さに気づき、守ろうとする場面づくり
エ 互いを認め合うクラス・集団づくり
(思いやりの心・あいさつ)

② 豊かな体験活動の充実

- ア 異学年との交流活動の充実
イ 大山小・玉井幼・地域の人との交流活動の充実
(架け橋期のカリキュラムの工夫・改善)

【3歳児】・幼稚園に親しみを持ち元気いっぱい活動する。
【4歳児】・体を十分に動かして、元気に活動する。
【5歳児】・目的に向かい、いろいろなことにチャレンジして活動する。

① たくましい心と体を育てる

- ア 教師や友達との信頼関係の構築と健康な心の育成
イ 最後まであきらめないで活動に取り組む心の育成
ウ 自ら体を動かしたくなる楽しい運動遊びの工夫
(幼児期運動指針の活用)

エ 思い切り体を動かせる場の工夫

② 健康で安全な生活をする力の育成

- ア 早寝・早起き・朝ごはんの推進と、基本的生活習慣の確立(家庭との協力)・感染症対策(手洗い、うがい、消毒等)の充実
イ 安全教育の具体的指導・危険回避能力の獲得

【3歳児】・自らのやりたい遊びを見つけ、楽しむことができる。
【4歳児】・いろいろなことに興味をもち、自ら進んで取り組むことができる。
【5歳児】・興味や関心を深め、試行錯誤しながら遊びを発展させていくことができる。

① 主体的・対話的に活動する力の育成

- ア 興味や関心がもてる環境づくりの工夫
(学びを支える環境構成)
イ 幼児が自ら考えて行動できる援助(自己決定力)
ウ 直接的な体験(自然体験)の充実

② 考える力・表現する力の育成

- ア 試行錯誤する過程の重視(学びを支える環境構成)
イ 自分なりに表現して楽しむ活動の充実
ウ 興味・関心をもって聞く・話す・伝え合う活動の充実
(言葉による振り返り・伝え合いの場)
エ 絵本や物語に親しむ環境の工夫

おおたま学園との連携

保護者・地域・各種団体等との連携・協力

大山小学校との連携・交流

夢に向かってがんばる子を支えるための ウェルビーイングの実現

保護者のウェルビーイングの実現

子どものウェルビーイングの実現

教職員のウェルビーイングの実現

子どもたちと向かい合う時間を確保するための「学校の在り方」及び「働き方」の改革 ～持続可能な「働きやすさ」と「働きがい」の両立を目指して～